

感染防止対策お願いいたします

春寒の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

年が明け、新型コロナの感染者が増え続け、再度の緊急事態宣言が発出されました。欧米に比べ、はるかに少ない感染者数にもかかわらず医療崩壊といわれ、感染の抑制に成功している他の東アジアの国々に比べ、はるかに感染者数が多い状況は何を直せばよいか国は真剣に考える必要があると思



代表取締役社長 吉田治伸

います。

さて、そうはいつでも自分の身は自分で守らなければいけません。社会的インフラを守る我々は、リアルなサービスを提供し続けなければなりません。

先日、ある現場で8割の社員が濃厚接触となり、陰性でありながら2週間の自宅待機になってしまいました。従業員の皆さんに多大なご心配をかけ、お客様には迷惑をかけてしまいました。

濃厚接触の定義は、換気の良くない状況で1m以内に15分以上マスクをつけない状態にいる事とされています。これで一番危ないのは食事時です。それぞれが絶対に濃厚接触者にならないという形態で、職場で、またご家庭で食事をおとりされることをお願いいたします。

また、ある会社では、皆が使う洗面でクラスターが発生したようです。喫煙所でのクラスターもありました。過去のクラスターの事例を研究し、除菌、そして行動の抑制をお願いいたします。

そして、皆様方からも「控室を分けたほうが良いのでは」とか「勤務の体制変えたほうが良いのでは」等いろいろご要望があれば、遠慮なく会社に言ってください。できるだけ事はお客様にお願いをいたします。

とにかく皆様の安全だけを心から祈願しております。

あらためて、感染防止のうえ、業務遂行お願いいたします。